

2013年度決算説明会 2014. 3. 7



クリヤマホールディングス株式会社(東証第二部3355)

代表取締役CEO 服部 兵衛

目 次

I. 2013年12月期決算概要

2013年度決算サマリー	P. 3
損益の状況	P. 4
販管費・営業外損益の状況	P. 5
セグメントの状況	P. 6
北米事業の状況	P. 7
産業資材事業の状況	P. 8
建設資材事業の状況	P. 9
スポーツ施設資材事業の状況	P. 10
要約貸借対照表	P. 11
キャッシュフロー、設備投資等	P. 13

II. 2014年度 業績見通し

クリヤマグループ業績見通し	P. 15
事業セグメント別業績見通し	P. 16
セグメント別業績変動要因	P. 17
配当金の状況	P. 18

III. 経営戦略と対処すべき課題

基本戦略	P. 20
北米事業	P. 22
産業資材事業	P. 23
建設資材事業	P. 24
スポーツ施設資材事業	P. 25
その他	P. 26

【 注 意 事 項 】

本資料に記載されている、クリヤマホールディングス株式会社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

I . 2013年12月期決算概要

2013年度決算サマリー

当期の経営環境

- 北米事業のホースの販売は、為替円安も寄与し、売上高、営業利益ともに前期を上回り好調。
- 海外アジア地域の建機需要減の影響を受け、量産用機械向け資材の販売が減少。
- 建設資材事業全体の売上は低下するも、工事採算性改善と経費削減効果等により利益率が改善。



営業利益、経常利益、当期純利益共に最高益を更新



13年度実績

売上高359億21百万円 営業利益20億21百万円、
経常利益23億85百万円 当期利益15億62百万円

(次ページご参照)

I. 2013年12月期決算概要

損益の状況

(単位:百万円、%)

2012/12			2013/12		
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減率
売 上 高	33,159	100.0	35,921	100.0	8.3
売 上 総 利 益	8,502	25.6	9,450	26.3	11.2
営 業 利 益	1,842	5.6	2,021	5.6	9.7
経 常 利 益	2,026	6.1	2,385	6.6	17.7
当 期 純 利 益	1,287	3.9	1,562	4.3	21.3
為替 レート	米 国 \$	80.12円	98.06円		
	カナダ\$	80.13円	94.67円		
	中 国 元	12.71円	15.93円		

- 北米事業の販売が好調(為替円安も寄与)な他、建設資材事業の採算性改善により、売上高は前年比8.3%増収、営業利益は前年比9.7%増益。
- 更に持分法による投資利益と為替差益が増加し、経常利益は17.7%増益、当期純利益は前年比21.3%増益。

I. 2013年12月期決算概要

販売費・営業外損益等の状況

(単位:百万円)

※主要科目を記載	2012/12	2013/12	増減額
1. 販管費	6,660	7,428	768
①人件費	3,114	3,432	317
②旅費交通費	228	247	19
③運賃荷造費	842	1,024	182
④保険料	173	246	73
2. 営業外損益	184	363	179
⑤為替差損益(為損△)	△32	119	151
⑥持分法投資利益	227	240	12
⑦支払利息(△)	△80	△ 67	12
3. 特別損益(△損失)	△4	△ 7	36
⑧持分変動損失	△24	—	24
⑨投資有価証券評価損(△)	△5	△4	1
⑩固定資産除却損(△)	△6	△1	5
⑪減損損失(△)	△5	—	5

I. 2013年12月期決算概要

セグメントの状況

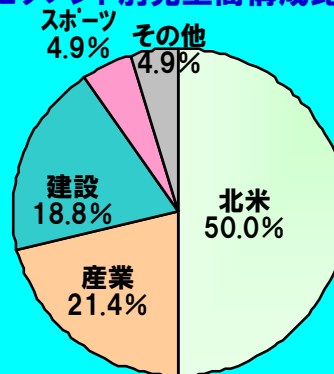
(単位:百万円、%)

		2012/12		2013/12			
		売上高	営業利益	売上高	増減率	営業利益	増減率
セグメント別	北 米	14,231	1,163	17,955	26.2	1,474	26.7
	産 業 資 材	8,035	976	7,678	△4.4	792	△18.9
	建 設 資 材	7,046	72	6,769	△3.9	297	310.3
	スポーツ施設資材	2,160	280	1,778	△17.7	128	△54.2
	そ の 他	1,686	38	1,739	3.1	38	△0.1
連 結		33,159	1,842	35,921	8.3	2,021	9.7

(単位:百万円)

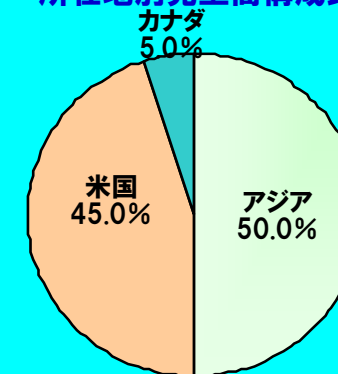
所在地別(売上高)	ア ジ ア	17,965
	米 国	16,149
	カ ナ ダ	1,806
	連 結	35,921

セグメント別売上高構成比



2013年実績

所在地別売上高構成比



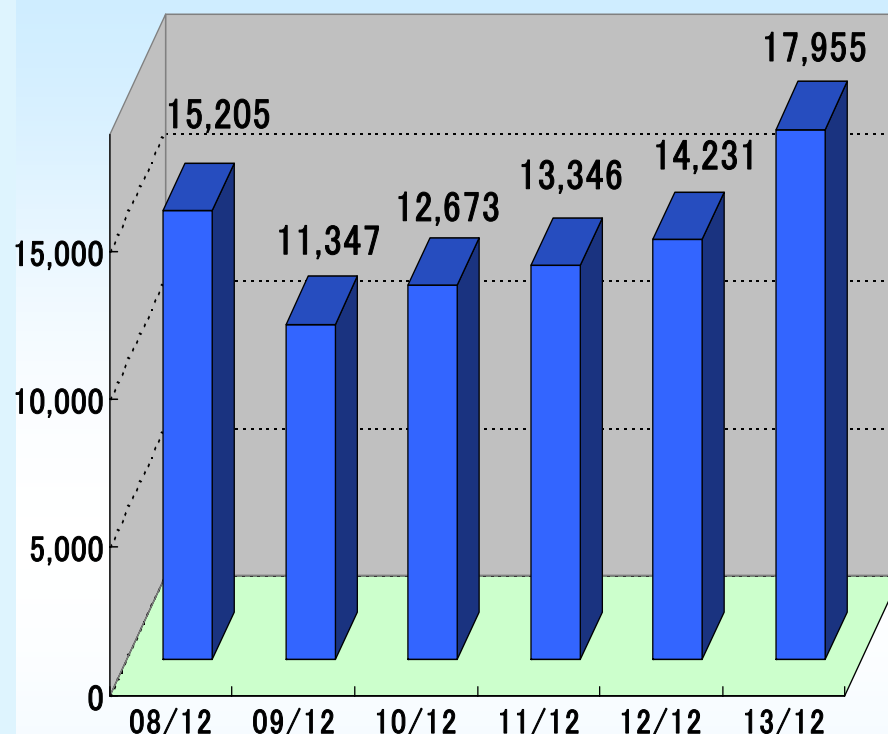
2013年実績

I. 2013年12月期決算概要

北米事業の状況

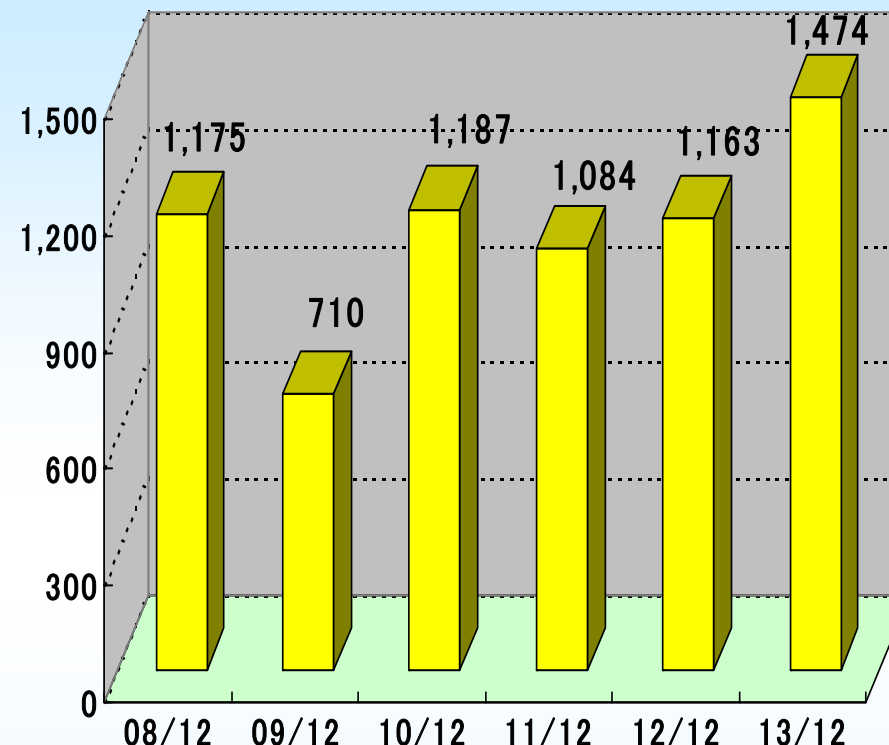
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)

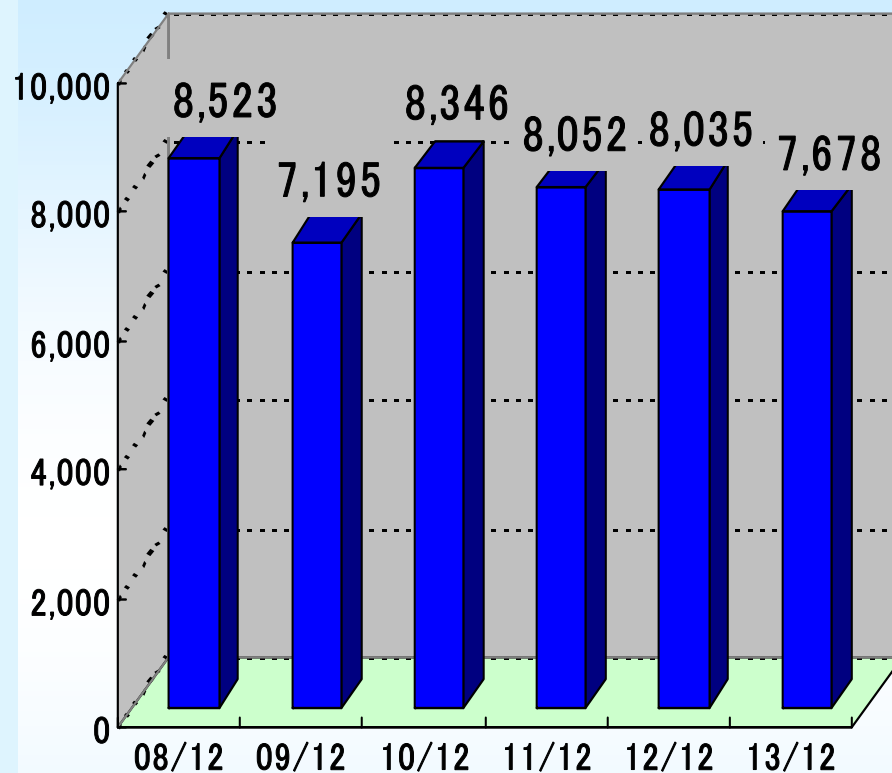


- 各種ホース販売(産業・鉱業・農業・飲料業界等へ販売)が好調。
- 売上高及び営業利益が過去最高を更新(現地通貨も更新)。
- 為替円安も寄与し、売上高は前年比26.2%増収、営業利益は前年比26.7%増益。

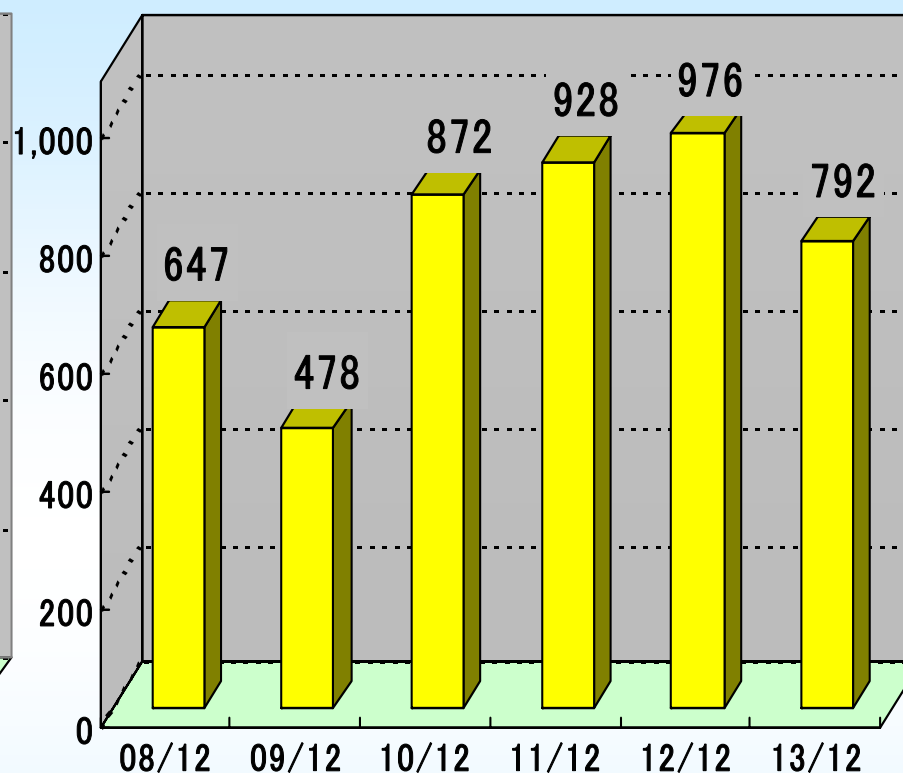
適用レート (1US\$)	08/12	09/12	10/12	11/12	12/12	13/12
	102.81円	93.72円	87.30円	79.63円	80.12円	98.06円

産業資材事業の状況

売上高の推移 (百万円)



営業利益の推移 (百万円)



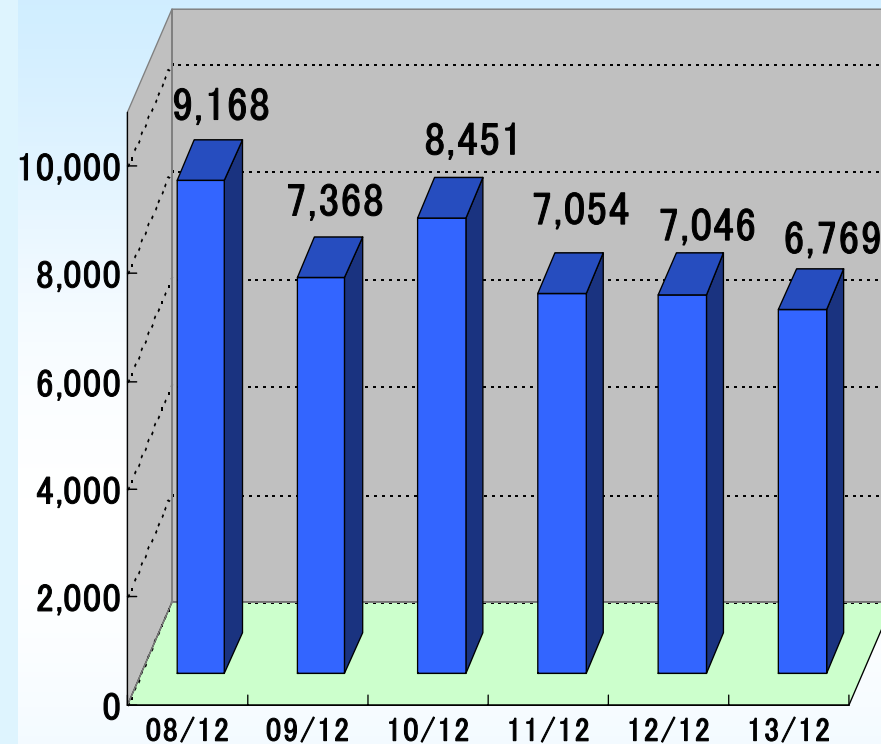
- 海外アジア地域の建機需要減による量産機械用部材の販売が減少。(後半需要は回復に向かうも前半の落ち込みが大きく影響)
- 電力施設向けプラント用資材が販売減。
- 前年同期に比べ、売上高は4.4%減収。営業利益は18.9%減益。

I. 2013年12月期決算概要

建設資材事業の状況

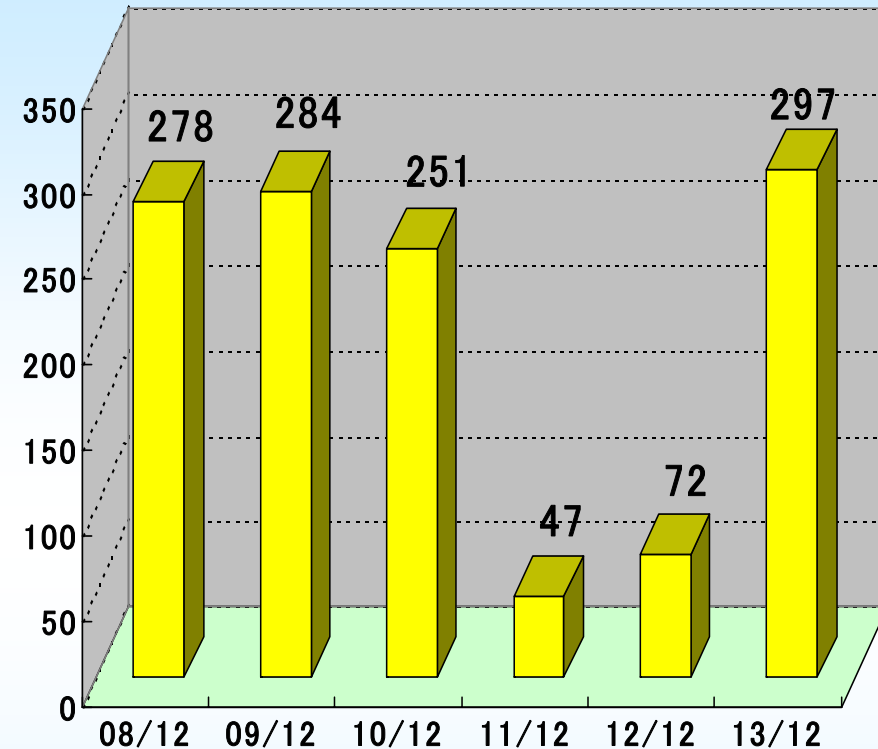
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)



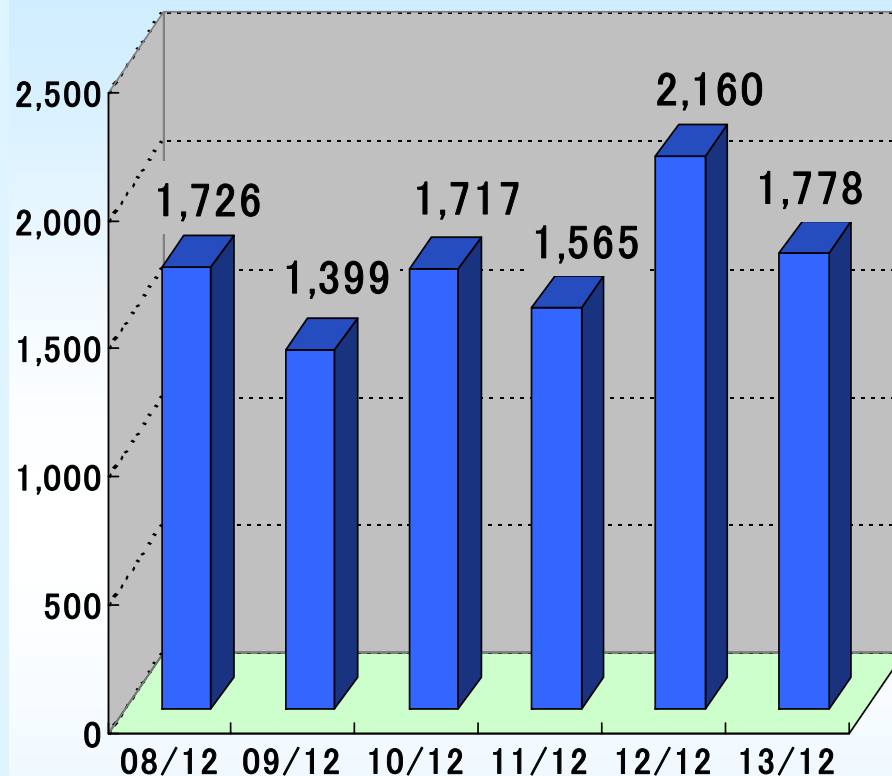
- 公共投資増加に伴い、道路・橋梁及び港湾・土木用資材の売上高は増加。
- 商業および鉄道施設向け建築用資材の販売が減少したことから、売上高は前年同期に比べ、3.9%の減収。
- 選別受注による工事採算性改善と経費削減効果等により営業利益は前年同期に比べ、310.3%の増益。

I. 2013年12月期決算概要

スポーツ施設資材事業の状況

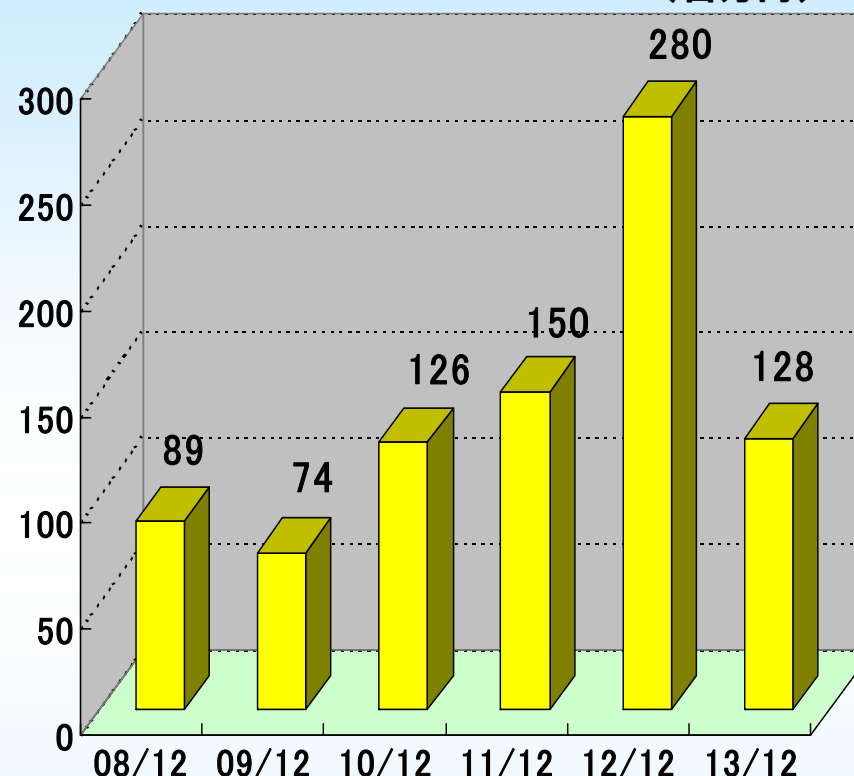
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)



- 体育館等で使用される「タラフレックス」(弾性スポーツ床材)とサッカー場等で使用されるモンドターフ(人工芝)の販売が増加も、陸上競技場で使用される「スーパーX」(全天候型舗装材)の受注減が影響し、売上高、営業利益ともに減少。
- 前期に比べ、売上高は17.7%減収、営業利益は54.2%減益。

I. 2013年12月期決算概要

要約貸借対照表

〔資産の部〕

(単位:百万円)

	2012/12	2013/12	増減額
現金及び預金	4,348	4,434	85
受取手形・売掛金	5,230	5,837	607
たな卸資産	6,004	6,906	902
その他	524	629	105
流動資産合計	16,107	17,809	1,701
有形固定資産	5,567	6,150	582
無形固定資産	246	549	302
投資その他の資産	3,382	4,507	1,124
固定資産合計	9,196	11,206	2,010
資産合計	25,304	29,015	3,711

北米 3億86百万円増
アジア 2億21百万円増

北米 7億48百万円増
アジア 1億53百万円増

基幹システム強化

投資有価証券時価増加
4億18百万円
関係会社株式及び出資
金増加 4億72百万円
(購入1億59百万円含む)

I. 2013年12月期決算概要

要約貸借対照表

〔負債・純資産の部〕

(単位:百万円)

	2012/12	2013/12	増減額
支払手形・買掛金	4,809	5,301	491
借入金(1年内長借含)	4,184	2,573	△1,611
その他	999	1,082	83
流動負債合計	9,993	8,957	△1,035
借入金	1,954	2,710	756
その他	1,365	1,884	519
固定負債合計	3,320	4,595	1,275
負債合計	13,313	13,553	239
株主資本合計	12,630	14,010	1,379
その他包括利益合計	△679	1,411	2,091
小数株主持分	40	41	1
純資産合計	11,990	15,462	3,472
負債、純資産合計	25,304	29,015	3,711

有利子負債圧縮を継続
8億54百万円(純減額)

繰延税金負債2億10百万
円増

当期純利益15億62百万
円計上

・為替換算調整勘定 為替円安
に伴い17億67百万円増
・有価証券評価差額金3億24
百万円増(時価上昇)

自己資本比率 5.9%増加
2012年度末 47.2%→
2013年度末 53.1%

I. 2013年12月期決算概要

キャッシュフロー、設備投資等

(単位:百万円)

	2012/12	2013/12	増減額
営業キャッシュフロー	1,463	1,697	234
投資キャッシュフロー	△201	△773	△571
財務キャッシュフロー	△1,093	△1,174	△80
現金・同等物期末残高	3,818	3,904	85
設備投資額	359	557	198
減価償却費	461	506	44
研究開発費	105	128	22

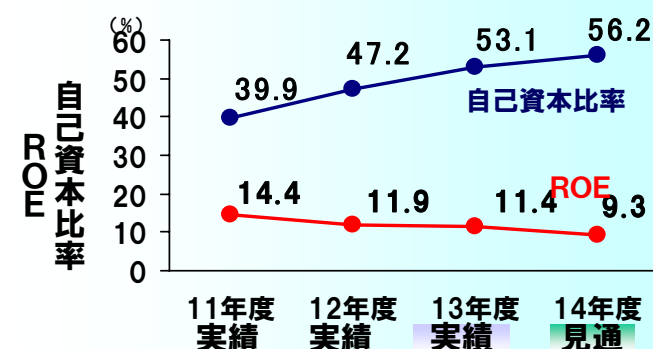
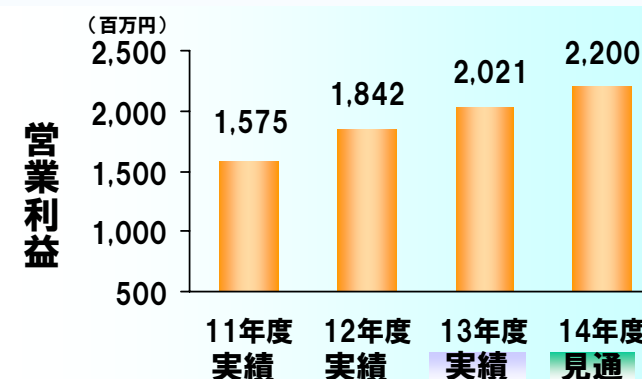
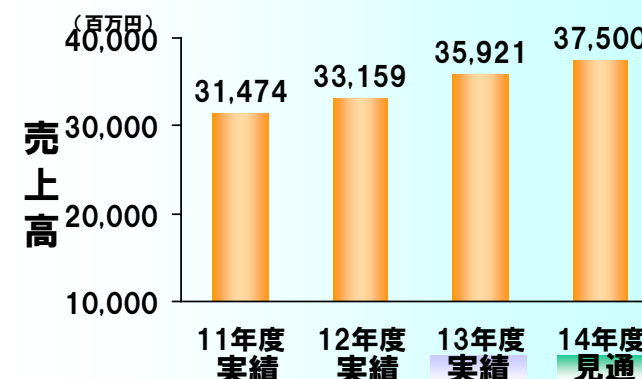
- 営業CF …税金等調整前当期純利益(23億78百万円)、たな卸資産の減少(45百万円)
- 投資CF …投資有価証券取得による支出(2億14百万円)、有形固定資産の取得による支出(4億73百万円)
- 財務CF …借入金の返済による支出(9億75百万円)
- 設備投資 …北米 4億15百万円、アジア 1億41百万円

Ⅱ. 2014年度 業績見通し

II. 2014年度業績見通し

クリヤマグループ業績見通し

	2011年 実績	2012年 実績	2013年 実績	2014年 見通
売上高 (百万円)	31,474	33,159	35,921	37,500
営業利益 (百万円)	1,575	1,842	2,021	2,200
経常利益 (百万円)	1,889	2,026	2,385	2,350
純利益 (百万円)	1,351	1,287	1,562	1,500
ROE (%)	14.4	11.9	11.4	9.3
自己資本比率 (%)	39.9	47.2	53.1	56.2
有利子負債増減額 CFベース(百万円) (減少△)	△305	△933	△975	△800
設備投資額 (百万円)	575	359	557	580
為替レート				
米 国 \$	79.63円	80.12円	98.06円	100円
カナダ \$	80.70円	80.13円	94.67円	90円
中 国 元	12.35円	12.71円	15.93円	16円

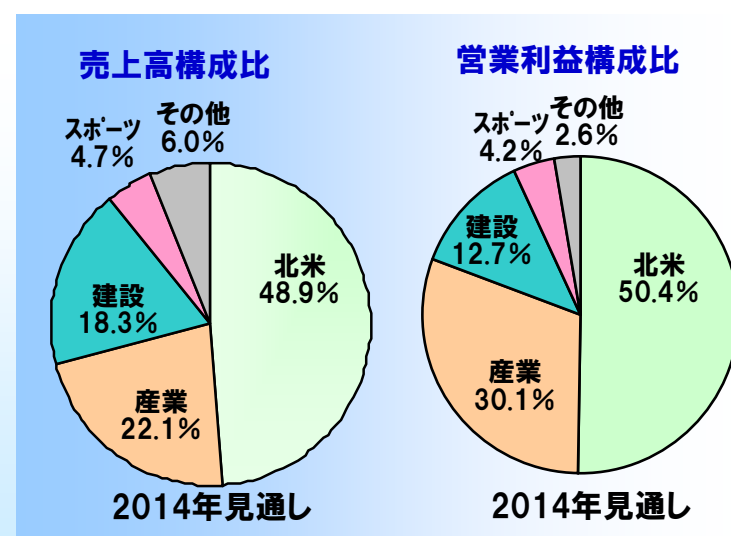
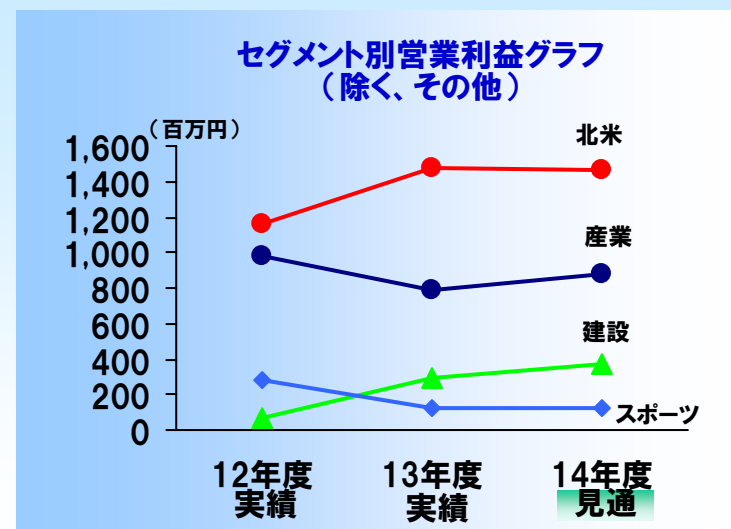


II. 2014年度業績見通し

事業セグメント別業績見通

(単位:百万円)

	2012年 実績	2013年 実績	2014年 見通
北 米 事 業	14,231	17,955	18,345
	1,163	1,474	1,467
産 業 資 材 事 業	8,035	7,678	8,275
	976	792	875
建 設 資 材 事 業	7,046	6,769	6,869
	72	297	371
ス ポー ツ 施 設 資 材 事 業	2,160	1,778	1,750
	280	128	122
そ の 他 事 業	1,686	1,739	2,261
	38	38	77
連 結	33,159	35,921	37,500
	1,842	2,021	2,200



(注)1. 上段は外部売上高、下段は営業利益
2. 全社費用は上記に表示しておりません。

II. 2014年度業績見通し

セグメント別業績変動要因

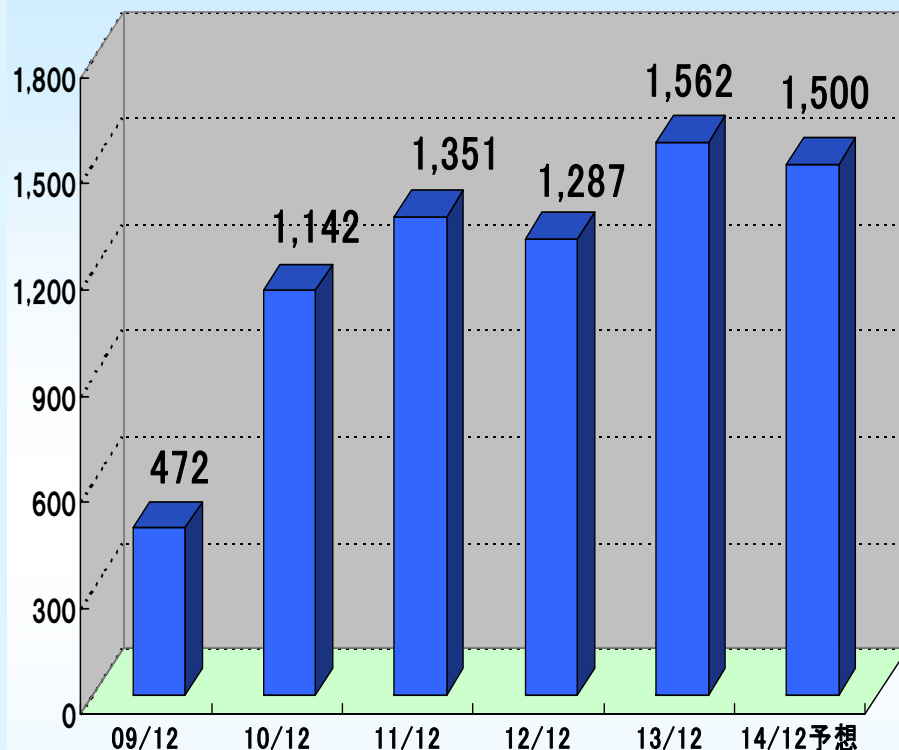
13年度実績と14年度見通変動要因

北米事業	堅調な米国経済を背景に、ホースの販売は、引き続き好調を維持。ただし、工場拡張や機械設備導入に伴う先行投資費用(人件費等)を考慮し、営業利益減を予想。
産業資材事業	海外アジアの建機市場改善による商材販売持ち直しにより増収増益を予想。なお、次世代環境型商品開発コストや船舶商材価格競争激化等により営業費用増を想定。
建設資材事業	売上は横ばいを予測するも、民間及び公共投資へのオリジナル商品販売増に伴い、商品構成が改善すること、また、工事選別受注に努めることで増益を予想。
スポーツ施設資材事業	将来開催される世界大会を見据え、陸上競技場や体育館施設等向けに受注注力。ただし、その期待効果は中長期的に時間を要することから当期は、横ばいの売上を予想。又、ユーロ高による利益率低下を考慮し、減益を予想。
その他	中国事業は、建機市場の改善によりOEM資材の販売増加が期待されること、またホテル事業については、インターネット販売予約好調により増収増益を予想。

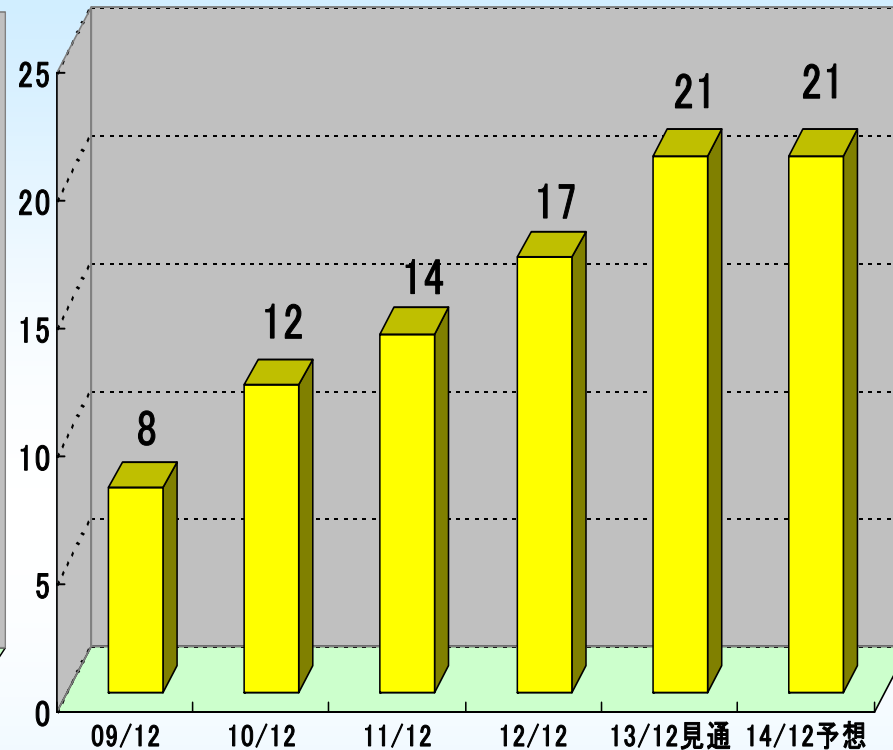
II. 2014年12月期業績見通し

配当金の状況

連結純利益の推移 (百万円)



1株当たり配当金の推移 (円)



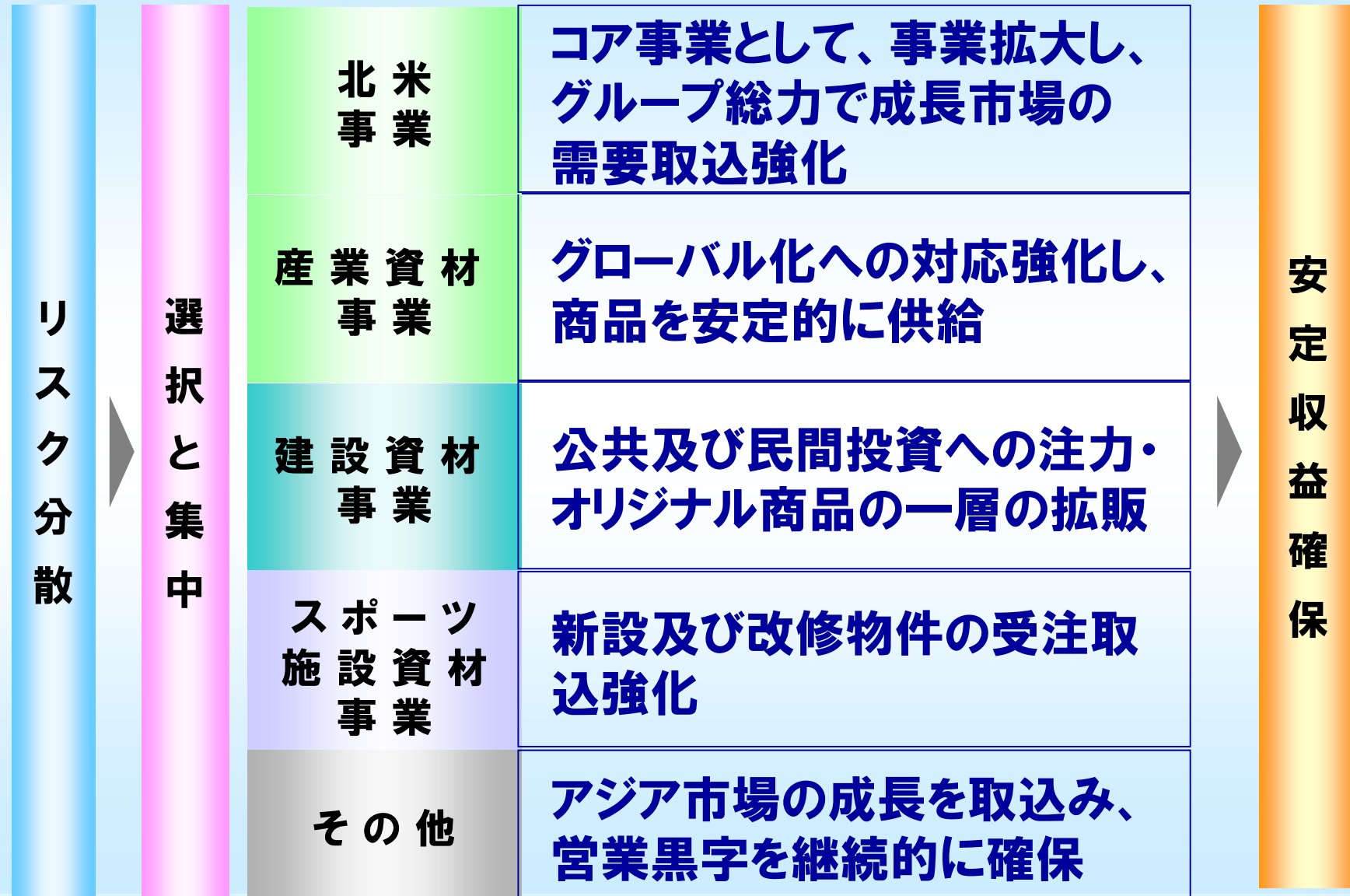
- 10年度以降、業績が回復。安定配当を基本方針として、段階的に増配を実施。
- 株主の皆様のご期待に応えるべく、引き続き業績を拡大し、株主還元努力。
- 09年/1株 8円 ⇒ 13年見通し/1株 21円 (162.5%増)

Ⅲ. 経営戦略と対処すべき課題

Ⅲ. 経営戦略と対処すべき課題

基本戦略

1 事業ポートフォリオ経営による安定収益確保

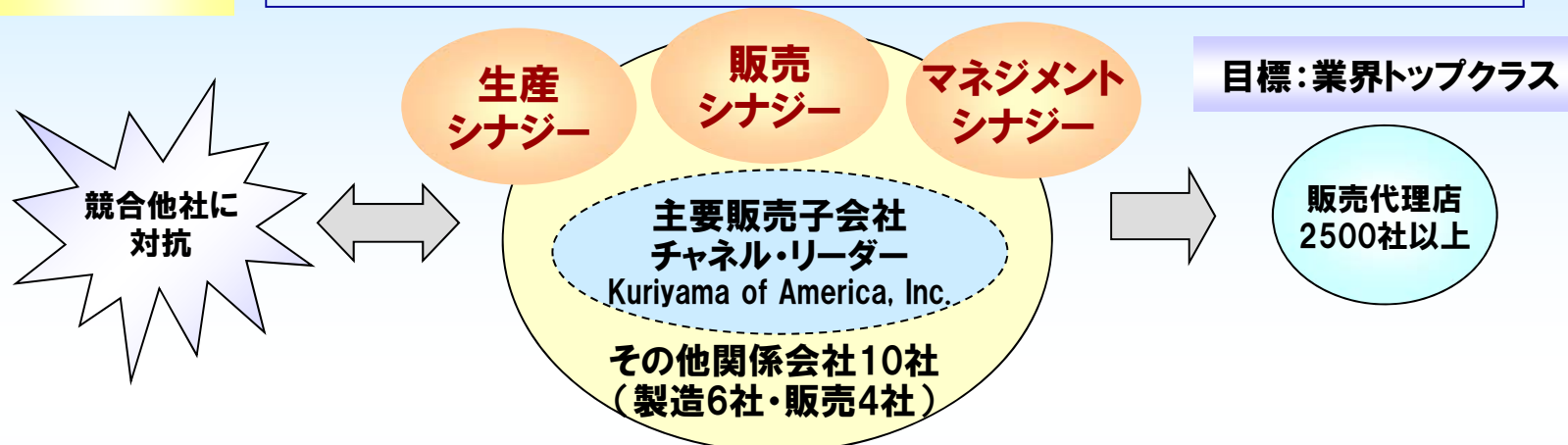


基本戦略

2 グローバルな事業基盤の確立

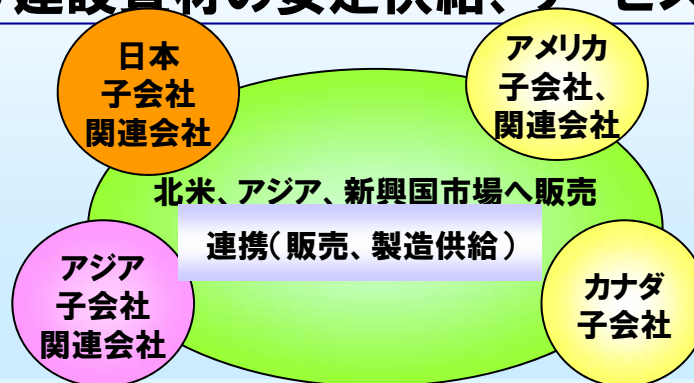
北 米

北米ホース事業拡大と確固たる競争優位を確立



アジア、
新興国

量産機械用部材及びホース販売拡大を目論み、グループ
会社間連携強化
国内向け建設資材の安定供給、サービス体制強化



ーコア事業としての一層の事業拡大ー

- ① 「KURIYAMA VALUE」ブランドの浸透を推進
- ② アジア、中南米市場への参入強化
- ③ シェールオイル・ガス市場への参入強化
- ④ 北米既存市場での販売シェア拡大
- ⑤ 製品群の更なる拡充と差別化製品投入による収益力向上
- ⑥ 北米におけるOEMビジネス参入強化

業績見通 (百万円)

	2013年 実績	2014年 予想
売 上 高	17,955	18,345
営 業 利 益	1,474	1,467



Kuriyama of America
(各種ホースの販売)



Kuriyama Canada
(樹脂ホースの製造)



Accuflex Industrial Hose
(飲料用ホースの製造)



Kuriyama de Mexico
(樹脂/ゴムホースの販売)



シェールオイル・ガス採掘現場



飲料用



ガolinスタンド



下水道洗浄

Ⅲ. 経営戦略と対処すべき課題

産業資材事業

－顧客のグローバル化に伴う対応強化－

- ① NORMA、樹脂コネクター等、重点商品の販促強化
- ② 国内、海外メーカーとの協業強化
- ③ 海外現地商品調達力及び供給力の強化
- ④ 商品構成比率の改善強化
- ⑤ プラント関連商品、船舶関連商品の販売強化
- ⑥ 次世代エネルギーや排ガス規制対応に向けた商品開発強化
- ⑦ モジュール化の推進等による高付加価値商品販促強化
- ⑧ VA・VE提案活動の強化
- ⑨ 在庫管理体制の強化・適正在庫品の維持

業績見通（百万円）

	2013年 実績	2014年 予想
売 上 高	7,678	8,275
営 業 利 益	792	875



船舶居住区用床材



NORMAグループ製品



ALFA高圧ホース



耐油シリコンホース



Ⅲ. 経営戦略と対処すべき課題

建設資材事業

ー 公共及び民間投資への注力・オリジナル商品の一層の拡販 ー

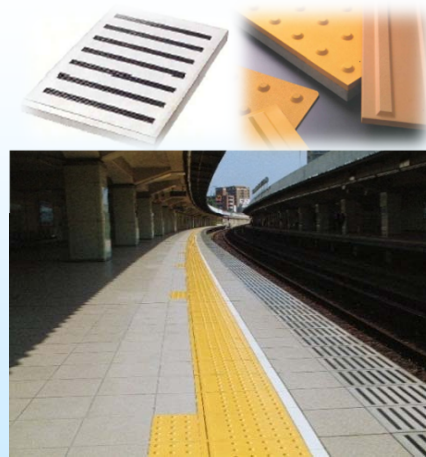
- ① 百貨店、鉄道、チェーンストア市場への販売強化
- ② 当社オリジナル製品(スーパーマテリアلز・エーストン・エコ&セーフティー等)の販売強化
- ③ 復興需要、インフラメンテナンス等、取込強化
- ④ 施工技術を活かした販促活動の推進
- ⑤ オリジナル商品の品質、コスト、在庫管理の強化
- ⑥ 物件の進捗トレース強化による営業品質の向上
- ⑦ 多面的施工能力を持った人材の育成強化

業績見通 (百万円)

	2013年 実績	2014年 予想
売上高	6,769	6,869
営業利益	297	371



 セラミックタイル
(スーパーマテリアلز)



ノンスリップタイル・点字タイル
(エーストン・Mブレイル)



エコ&セーフティー
(ペープメントタイル)



セラミックタイル施工
(ストライピング工法)

スピーディーでハイクオリティな施工、環境負荷も少ない新標準工法

スポーツ施設資材事業

－新設及び改修物件の取込強化－

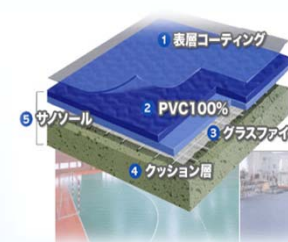
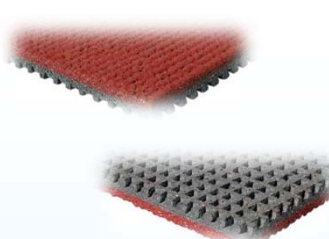
- ① スーパーX、タラフレックスの新設及び改修物件の販売強化
- ② 「モンドターフ」のリサイクル事業を核とした改修マーケットへの参入強化
- ③ 代理店との連携による新たな人脈作りと代理店網構築
- ④ 営業プロセス及び情報物件の管理を徹底

業績見通 (百万円)

	2013年 実績	2014年 予想
売上高	1,778	1,750
営業利益	128	122



人工芝 リサイクルシステム



ナショナルトレーニングセンター



イタリア 全天候型トラック
(スーパーX)



フランス スポーツ床材
(タラフレックス)



イタリア 人工芝
(モンドターフ)

その他

ーアジア市場の成長を取込み、営業黒字を継続的に確保ー

中国事業

- ① 中国商業施設等へ床材の販売促進
- ② 建機、農機等、OEM資材受注拡大
- ③ 北米グループ会社との連携によるホースの販売促進、代理店確保



ホテル事業

- ① インターネット販売強化
- ② 海外顧客及びスポーツ団体顧客取込強化



業績見通 (百万円)

	2013年 実績	2014年 予想
売上高	1,739	2,261
営業利益	38	77

アウトドア用品販売事業

- ① 主力ブランド商品(MONTURA)の販売強化
- ② 大黒柱となる事業発掘とその育成



ダスコン用品販売事業

- ① 高付加価値マットの提案と既存顧客のシェアアップ
- ② 制菌マット等の拡販



研究開発事業

- ① 産業資材・建設資材・スポーツ施設資材の商品改良等を行い、各事業を補完

ご清聴誠にありがとうございました。



＜お問い合わせ先＞

クリヤマホールディングス株式会社
経営企画部

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL 06-6305-5721

FAX 06-6305-5604

<http://www.kuriyama-holdings.com/>